

## 5 市民が取り組むまちづくり

### ～市民懇談会から福知山市の未来への21の提案～

無作為に選ばれた約100人の市民が  
楽しく、真剣に話し合いを重ねて  
福知山市の課題、未来について  
提案をまとめました。

私たち「福知山市民懇談会」のメンバーは、2020(令和2)年12月から2021(令和3)年10月まで5回にわたって、(1)安心して快適に過ごせるまち、(2)子育てのしやすさと学びのまち、(3)健康で生きがいのあるまち、(4)産業振興と発信力のある魅力あふれるまちの4つのテーマにわかれ、日々の暮らしの中で感じている課題や福知山市の良さ、これから何をしていくのが良いかを話し合いました。

市役所から無作為の市民に送られた案内がたまたま届いたことをきっかけに参加した約100人の委員は、ほとんどが初めて顔を合わせる人たちで、住んでいる地区も、仕事も年齢も、お互いの考えも全くわからないところからの話し合いで、はじめはよそよそしく、緊張もしましたが、回を重ねるごとに打ち解け、和気あいあいと、時には熱く議論しました。

コロナ禍での開催でしたが、オンラインを活用し、対面とオンラインをつないだ議論も行いました。声が聞きにくかったり集中するのが難しかったり、課題はありましたが、新しい話し合いの可能性を感じることができました。

この提案書は、10ヶ月間にわたって話し合った私たちからの福知山市の未来にむけた21の提案です。話し合いでは、私たちが実際に直面している暮らしの中の課題を率直に議論しましたが、文字にすると少し“きれいに”まとめ過ぎているかもしれません。

私たちの会議の空気、熱い意見が少しでも伝わるよう委員の「声」を交えて、お届けします。

私たち市民がこのような形で福知山市のことについて具体的な提案ができるということは考えてもなかったですが、日常の生活で感じていることが、まちの課題とつながり、その解決策を「自分ごと」として考えた過程は、とても楽しいものでした。

世界中で「民主主義の危機」といったことを言われている中、大げさに言えば「新しい民主主義の可能性」を福知山市で示せたのかもしれない。

私たちは、この提案書が「ゴール」だと考えていません。

この提案の実現のためには、福知山市役所のみならず、私たち一人ひとりや地域の動きがとても重要です。この提案書がきっかけとなり、福知山市の様々な場所で、たくさんの議論、アイデア、行動がうまれてほしい。そんな思いでこの提案書をまとめました。

## 21の課題と未来への提案

1	生活実感を入り口に、地域のことを「自分ごと」として考えるきっかけとなる対話の場をつくろう
2	学校だけではない学びの場をつくり、「生きる力」と「困難に対するしなやかさ」を育もう
3	「子育ての話」を気軽にでき、先入観や「あるべき論」にとらわれず、一人ひとりの個性を生かした子育てができる環境をつくろう
4	障害のある人や様々な悩みを抱え孤立しがちな子どもや家族に市民どうしが互いに関心を持ち、手を差し伸べ、誰も孤立させない環境をつくろう
5	学び続けたい大人たちが、互いに学び合い、教え合う環境をつくり、地域の課題を自ら解決できるコミュニティをつくろう
6	動画やデジタルを活用した「ICT 教育」を推進し、一人ひとりの状況にあわせたきめ細やかな学びを実現させると同時に、生きる力を集団で学ぶ、成熟した学びをつくっていこう
7	福知山市の自然やコミュニティの中でしか体験できない思い出をたくさん作ることで「心の豊かさ」を育むとともに世界に向けて「発信したくなる気持ち」を育てよう
8	子育てを地域全体でサポートすることで働く人が住みやすいまちをつくろう
9	多様な働き方、働く目的にこたえる“しごと”と“人”をつなぐ仕組みをつくろう
10	福知山市に住みたい希望をかなえられる働く場の確保を大学や企業とも連携しながら、実現していこう
11	意欲ある起業家や地域を支える経営者の挑戦と創意工夫を、まちぐるみでサポート、育成していこう
12	福知山市の魅力、強みを生かして、儲かる観光業、農林畜産業をめざして盛り上げよう
13	福知山市の歴史、自然、文化などの魅力を日本中、そして世界にむけてアピールしていこう
14	担い手が少なくなってきた時代に対応し、自治会などの活動を見直し、開かれた運営を行っていこう
15	「やらなければならない」地域活動から、「やりたい人がやりたいことをやる」地域活動へ変えていこう
16	自動車がなくても、買い物や通院に支障なく生活ができる工夫、仕組みを作ろう

17	身近な場所に拠点をつくり、 様々なサービスを「行く」から「来る」に転換しよう
18	医療や介護をできる限り必要とせず、 健康で生き生きと長生きする「健康長寿」をめざそう
19	一人ひとりが楽しみながら、 様々な場で力を発揮することができる環境をつくろう
20	一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな相談、支援を できる体制を、地域包括支援センターを中心につくろう
21	独居高齢者、老々介護、介護離職など、 様々な介護の事情や社会生活環境の変化をふまえ、 担い手の多様化と地域での支え合いの仕組みをつくろう